

研究室からちょっとひとこと 2024新春

～冷え、睡眠障害、コロナワクチン後遺症の軽減にも～

人生100年の健康づくりに、水素のチカラは無限大!



世の中には、例えばちょっと「血圧」が高いとなると、すぐに降圧剤を出す医師が多いです。さまざまな症例においても「対処療法」で「なぜ血圧が上がったのか」などの究明はされません。これほどの薬を毎日飲んでも本当に大丈夫?と思わせるほどの薬を飲むことで、ピンポイントで効果を出す場合もありますが、それにともなうたくさんの副作用のことは一切問題にしません。

一方で、下記記事の宮川先生をはじめ、なるべく「薬」を多用せ

ずに、根本から病を治していく、病院にいく回数を減らそう、との考え方のもとに「水素」を中心とした療法をはじめている良心的な医師も少しづつ増えています。

宮川先生はもちろん「水素バス」を気に入って、患者様にもすすめてくださっています。

みなさまもぜひ、毎日の水素バスで水素を生活にとりいれ、人生100年の健康づくりに役立ててください。

水素は、副作用もなく様々な症例に対しプラスの影響を与える唯一無二の存在

体の不調の多くは、血流の悪さによるところが多いのは周知の事実です。水素の働きのひとつに『自律神経系の体をリラックスさせる働きをする副交感神経を優位にさせる』というものがあります。水素をとりいれると、この副交感神経が優位になって血管の緊張がとれ、その結果、毛細血管末梢に血流が増えて、体が温まります。

水素の働きは他にもあり、『体の酸化(=老化)を防ぐ』『体の炎症を防ぐ』ことも科学的に証明されています。

昨年の春号でみなさんにご紹介した、最強の水素術でおなじみの医学博士宮川路子先生が、1000人を超える方々に水素療法を導入したところ、最も多かったのが睡眠障害の改善でした。またビタミンCと合わせた宮川メソッドによる、放射線・抗がん剤治療の副作用軽減にも多くの効果が確認されました。他にも腎機能、肝機能、認知機能の改善にも高い効果がみられたとのことです。

水素のすばらしいところは、これだけの体にとってよい効果がありながら、薬のような副作用が一切ないということです。水素は体内に入ると善玉活性酸素に結合して、無害な水に変えてしまいます。そのうえ、善玉活性酸素には一切影響を与えません。

水素を毎日の生活にとりいれることは最大の健康増進法であり生活習慣病の予防にもなるのです。



オススメ!

人生100年の健康づくりに 医師がすすめる最強の水素術

サンライズパブリッシング (2023/3/2)

著者の宮川路子医師が水素のさまざまな効能から取り入れるポイントまで、この1冊であると解説されています。すでに1万部を突破した、水素・栄養療法の最強バイブル!